

# エジプトに導入された日本型教育と Tokkatsu

杉田 洋  
(國學院大學)

## 1. 本発表の目的

本発表は、「なぜエジプトで Tokkatsu・学級活動だったのか」、「どんな方法が導入を後押ししたのか」について共有しようとするものである。そして、このことを通し、今後の特別活動の海外展開の可能性や留意点、日本の特別活動へのメリットなどを明らかにすることが目的である。

## 2. 本発表の内容

### (1) なぜ、Tokkatsu・学級活動だったのか

2016年にエジプトの大統領が日本の学校を視察したことがきっかけである。そこで目にした日本の子供たちの規律や協調性の高さに感銘を受け、「日本独特」で「協調性等の育成に寄与する」教育の導入を求めたのである。JICAは、国情や文化の違いに配慮し、日直、掃除、手洗い、朝の会や帰りの会、朝自習などのカリキュラム外活動の導入を提案した。

それが Tokkatsu となったのは、日本式教育を幼稚園から大学院までの教育段階に導入することを目的とした包括的な「エジプト日本教育パートナーシップ」が両国で合意され、その中で「バランスのとれた子供の発達を目的とした日本式教育課程の基本的構成要素」として特別活動が明記されたことによる。

また、学級活動となったのは、2018年から始まったエジプトの大規模な教育改革において、小学校新カリキュラムの必修活動として、毎週45分の時間枠と共に、その内容として、学級活動が採用されたからである。

### (2) どんな方法が導入を後押ししたか

日直等のカリキュラム外活動は、好意的に受け入れられ、スムーズに導入が進んだ。ただ、掃除については、学校に掃除夫が雇用されていること、道具が揃っていないことなどから、意義の理解や導入に時間がかかった。その後、前述したような経緯からカリキュラムとして、学

級指導や学級会の授業、委員会活動などが導入されていった。また、同僚性の高い日本の学校教育特有である学校運営、校務分掌、職員会議、学級経営、授業研究などもスムーズに導入されていった。その際、次のようなことが大きな後押しになった。

- Tokkatsu officer (指導者) が養成されたこと。(現在 200 名ほどがその役割を担っている)
- さらに、そのコアメンバーを試験によって認証するための認証制度 (TTCS) が確立されたこと。(現在 30 名ほどが認証)
- 指導書とも言える Tokkatsu 教員ガイドが全ての学校に配布されたこと。(何度か改訂)
- Tokkatsu の全内容を導入する EJS (エジプソン・ジャハニーズスクール 現在 51 校が新設)、一部を除いて実施する EJS 周辺の既存校、日直と学活のみを実施する一般校の 3 つのタイプに分けて導入が進められていること。
- エ政府が、日本での校長等等経験者をスーパーバイザーとして採用し、EJS の指導に直接関わるようにしたこと。
- 日本の大学が計画した研修に EJS の教師が参加し、授業を参観できるようにしたこと。
- EJS の教員や大学生のための Tokkatsu ディプロマ課程の作成と認証について検討が始まっていること。(予算の捻出等の課題に直面してはいるが…)

## 3. まとめ

エジプトでの Tokkatsu 導入については、関心をもつ隣国もあり、今後の特別活動の海外展開拡大の可能性を秘めている。もし導入となれば、エジプトでのプロセスや試みが大いに参考になる。また、授業時数の限られた中で Tokkatsu のコアの活動を導入するエジプトの取組は、働き方改革が課題になっている今、日本の特別活動の在り方の参考にもなる。